

つきたい力 創造的にデータを活用して、よりよい未来を構想し、その実現のために科学的に探究し、その結果に基づいて行動する力

			1	2	3	4	5	
			評価規準	標準を大きく下回る	標準に達していない	標準に達している	標準を超えている	新しい価値を創造している
未来構想力 課題を知りよりよい未来を構想する力	Problem 課題設定力	よりよい未来の理想像と現実とのギャップや、身近な「なぜだろう」という疑問を出発点として問題を全体的、具体的に理解し、それを解明するのに適切で的絞られた研究課題（リサーチクエスト）を定めることができる。	理想、あるいは現実だけに着目したり、身近な疑問から問いを広げたり深めたりすることができなかつたりして、問題を理解していない。	理想と現実のギャップを理解したり、身近な疑問から問いを広げたり深めたりできているが、研究課題が曖昧すぎる。	問題を理解し、その問題に対応した研究課題を定めることができる。	問題を全体的かつ具体的に十分に理解し、問題の解明につながる適切で的絞られた研究課題を定めることができる。	新しい価値を生み出すような、創造的で独自性のある研究課題の設定をすることができる。	
	Plan 探究計画力	先行研究を調査し、仮説を立て、データ活用の見通しを持って、広い視野で深い調査・分析を行うための計画を立てることができる。	先行研究を調査しておらず、仮説もない。	仮説はあるが、先行研究ですでに解明されていたり、曖昧な内容であり、実効性のある研究計画が立てられていない。	適切な仮説を立てて、データ活用の見通しがある計画を立てている。	適切な仮説を立てて、広い視野で深い調査・分析が行えるような実効性のある計画を立てている。	創造的で独自性のあるデータ収集・可視化・分析手法の計画を立てている。	
未来探究力 データサイエンスのスキルを用いて設定した課題に協働して取り組む力	Data データ収集力	取得方法、正確性、信頼性を意識して研究テーマの解明に必要なデータの収集を行い、整理、整形、加工、カテゴリー化を行うことができる。	データ収集が不十分であり、出典（資料名、書名、年月日）も明確でない。	データ収集ができており、取得方法、正確性、信頼性に改善の余地がある。	取得方法、正確性、信頼性におおむね満足のおおむねデータ収集ができており、基本的な整理・整形ができる。	取得方法、正確性、信頼性に満足のおおむねデータ収集ができており、整理・整形・加工ができる。	創造的で独自性のあるデータ収集ができており、データの加工、カテゴリー化ができる。	
	Analysis データ分析力	データを分析し、課題解決につながるように可視化し、モデルを推測することができる。	インターネットや書籍、論文など、誰かが既作ったグラフや表をそのままコピー＆ペーストしており、独自の分析や可視化の作業がない。	データの分析や可視化が行っているが、その正確性や妥当性が不十分である。	データの分析や可視化がおおむね適切に行われている。	データの分析や可視化が効果的に行われている。	創造的で独自性のあるデータ分析や可視化が行われている。	
	Conclusion 結論力	分析結果を考察し、仮説を検証して結論を導き、問題の解決策を提案することができる。	分析結果を考察せず、調査や実験の結果がそのまま結論になっている。あるいは分析結果と結論に関係がない。	分析結果を考察し、仮説の検証もしているが、分析と結論の関連が薄かったり、結論の内容が一般論であつたりする。	分析結果の考察と、仮説の検証がおおむね適切であり、妥当性のある結論を導き出している。	分析結果の考察と、仮説の検証が適切であり、課題解決につながる有効な結論を導き出している。	広い視野で分析結果を考察し、創造的で独自性のある解決策を提示している。	
未来行動力 構想した未来の実現に向けて行動する力	Action 行動力	結論に関連し、課題解決につながる実行可能な行動計画を立て、創意工夫して実行することができる。	行動計画が探究の結論と関係せず、課題解決につながらない。	結論に関連する行動計画は立てられるが、実行可能性が低く、実際にあまり実行に移せていない。	課題解決を視野に入れた実行可能性のある行動計画を立て、おおむね実行に移せている。	結論と密接に関係し、課題解決につながる行動計画を立て、計画したことをすべて実行している。	創造性、独自性、実効性を兼ね備えた行動計画を立て、創意工夫して実行している。	
表現力 探究の内容を効果的に伝える力	Visual 視覚資料作成力	必要な情報が過不足なく盛り込まれており、視覚的にも「読ませる」よりも「見せる」資料を作ることができる。	出典が書かれていない。文字が中心で視覚的な工夫がない「読ませる」資料である。	出典は書かれているが、情報が不足している。視覚的な工夫を一部取り入れているが、内容が十分整理されていない。	必要な情報がおおむね過不足なく盛り込まれており、視覚的にも「見せる」資料にする工夫がある。	必要な情報が過不足なく盛り込まれており、視覚的に訴える資料が作られている。	研究内容の全体が十分に理解でき、聞き手に伝わりやすい工夫がなされた構成である。	
	Oral 口頭発表力	聞き手に理解してもらえるような、発声、視線、表情、体の姿勢である。	聞き手を意識せず、原稿や画面を見ながら読み上げている。	聞き手に理解してもらおうとしているが、発声、視線、表情、体の姿勢の幾つかが不十分である。	聞き手に理解してもらえるように、発声、視線、表情、体の姿勢のすべてを意識している。	聞き手に十分理解してもらえるように、発声、視線、表情、体の姿勢を工夫している。	聞き手の反応を踏まえ、ライブ感・臨場感があり、効果的に伝わる工夫のある発表である。	